

情報を先取り、タブーに挑戦

財界タブー

知事選・高橋はるみvs荒井聰 水面下のどろどろドタバタ

3月号

札銀を合併、北洋・横内龍三の大胆戦略
岩田圭剛〱地崎合併のメリットと不安、
学生・親・教師必読、いま「就職」は…
「現代健康学」長生きの秘訣大特集！

〱上田怪文書、出所は市役所のこの4人？

札幌市



道州制が日本を変える！

対談 高橋はるみ知事・林芳正内閣府副大臣

昭和三十九年三月三日 第三種郵便物認可
平成十九年三月一日発行 第四五巻 第三号（毎月一日発行）

入るべき会社を見極めるには、どうしたらいいのか。「ホームページや社屋ではなく、その会社で働いている人間を見てほしい。説明会やOB訪問に出てくる社員にあこがれて入社する人がいますけど、あれは企業側があらかじめ用意した「カッコイイ社員」です。

実際に社会で働いている人はもつとドロ臭くて、ダサくて、それでも一生懸命頑張っている人たちです。でも、学生はそのことには気付かないんですよね」

山近氏は「就職活動は自分の壁を壊すチャンス、大いに利用して下さい」と語っている。

「6私大求人票システム」 できた本当の理由

道内の私大が求人票をインターネット上で閲覧できた背景には、就職活動に潜む「意外な落とし穴」が

あるという。今年1月に運用開始となった、求人票一括送信システム「北海道求人票ナビ」。

これは道内の私大が開発したもの。参加したのは旭川大、札幌学院大、札幌国

際大、札幌大、北星学園大、北海道文教大の6つ(短期大学部は含まない)。

これまで、大学の就職室に送られてくる求人票は、

あらかじめ大学が企業に郵送し、記入したものを企業が返送していた。

「毎日就職ナビ」などが代表的。最近は大学に求人票を出さず、こうした就職サイトだけで採用活動を行う企業が増えているが、中にはトラブルに発展するケースもあるという。

1大学あたりの発送数は数千件。送るだけでも大変な手間である上、複数の大学の求人票を記入しなければならぬ企業にも負担がかかっていたという。

開発の中心となった札幌学院大は、「大学は職業安定法に基づき就職斡旋をしています。信頼できる情報を発信し、就職をサポートしたいです」と話している。

ネット上の専用サイトで求人票に記入・送信すれば、一括して各大学に送られるというしくみ。企業の負担は減り、大学もコストを減らし、より多くの企業からの求人情報を得ることができると期待がある。

だが、求人情報なら就職サイトに山のように載っているじゃないか、と思われる方はいまいだるうか。実はシステムができた「本当の理由」は、ここにある。

大学生の就職 人気企業ランキング

ある就職課職員はこう明かす。

「学生が企業を選ぶ時代」とすら言われている。企業の人事担当者は学生に「入りたい」と思わせるようなホームページ、説明会、パンフをつくるのに必死だという。

「会社に入ってみたら、勤務実態が求人票と全然違うとんでもない会社だった、

まず、左ページに示したランキング表をご覧ください。これは楽天が運営する就職サイト「みんなの就職活動日記」が、2007年3月卒業予定の道内学生の志望企業を集計した結果だ。(調査期間05年9月～06年



URL は <http://www.hokkaido-kyujin.com/>